平成25年度 地域密着型金融の取組み状況

■ 銚子信用金庫

1. お取引先企業等に対するコンサルティング機能の発揮

取組方針

お取引先企業等との継続的な関係から得られる各種情報を通じて把握した経営目標や課題に対し、その解決に向けた情報の提供や取組みの支援を実施する。

以祖力亚	報の提供	や取組みの支援を実施する。
取組項目]	具体的取組策と実績(平成25年4月~平成26年3月)
		【創業・新事業展開に関するセミナー等の開催】 新たに「サービス付き高齢者向け住宅」ビジネスへの参入を検討している事業者の方を対象にして、7月24日に「サービス付き高齢者向け住宅」セミナー(無料)を開催しました。 <今回の参加者数> 19社
		【会員制情報提供サービス「ビジネス知恵袋」の提供】 経営者のみなさまの情報ニーズに応えるべく、各種経営情報をインターネットを介して提供する会員制情報サービス「ビジネス知恵袋」を提供しています。 また、5月16日には経営塾21との共同開催により、「でんかのヤマグチに学ぶ、高く売っても愛される秘訣」をテーマに経営者セミナーを開催しました。
		【経営革新等支援機関との連携を必要とする保証制度や各種補助金制度の活用支援】 取引先企業の経営改善計画策定支援や継続的な経営支援により経営力の強化を図ることを目的とした「経営力強化保証制度」の活用や、経営改善計画書策定に係る費用の助成をする「計画策定補助金」、創業等に要する経費の一部を助成する「創業補助金」、試作開発や設備投資を支援する「ものづくり補助金」など各種補助金の活用について積極的に周知・提案を行っています。
		<平成25年度の実績> ・経営力強化保証制度活用 2件 ・計画策定補助金の申請支援 4件 ・創業補助金の申請支援 3件 ・ものづくり補助金の申請支援 7件
		【外部機関(専門家含む)との連携による経営改善支援】 取引先企業の経営課題に対して、外部機関・外部専門家との連携を図りながら、実効性のある経営改善支援に取組んでいます。 平成25年8月、地域の認定支援機関が連携して専門家を派遣する窓口機能を担うほか、経営改善支援等を行うことを目的として設立された「千葉県中小企業支援プラットフォーム」の構成機関となりました。
お客さまのライ ジに応じた課 援の強化		<25年度実績> ・中小企業再生支援協議会や中小企業支援ネットワーク等の外部機関と連携した経営改善支援 23先 ・中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業(ミラサボ)等の外部専門家を活用した先 8先
		【販路開拓支援の実施】 千葉県内5信用金庫(千葉信用金庫、東京ベイ信用金庫、館山信用金庫、佐原信用金庫、銚子信用金庫) の共催で、10月8日に「第3回 しんきん食の商談会」を幕張メッセ国際会議場コンベンションホールにて開催しました。
		【経営改善計画策定支援の実施】 経営改善計画策定等の支援活動が必要な先を選定し、実効性のある経営改善支援活動に取組んでいます。平成25年度は、経営改善支援先として74先選定し、経営課題に対する改善策のアドバイスや経営改善計画書の策定支援に取組みました。
	_	<平成25年度の実績> ・経営改善計画策定 15先 ・その他の事業計画策定 38先
		【若手経営者向け勉強会「ちょうししんきん経営塾21」の開催】 企業の発展と地域経済の活性化を目指して、事業意欲の高い地元の次世代後継者を対象に、経営につい ての継続的な学習機会を提供させていただいています。 平成18年7月に開講した若手経営者勉強会「ちょうししんきん経営塾21」は、平成24年9月から受講生30名で 第4期がスタートしています。
		 ・第4期第5回「でんかのヤマグチに学ぶ、高く売っても愛される秘訣」(5月16日) ・第4期第6回「経営者に求められる真のリーダーシップ」(7月8日) ・第4期第7回「企業価値を高めるマネジメント手法」(9月17日) ・第4期第8回「中小企業のマーケティング戦略①」(11月20日) ・第4期第9回「中小企業のマーケティング戦略②」(1月15日)

<平成25年度の相談対応実績> 1先

【事業承継(M&A含む)の積極的な相談対応】

・事業承継(M&A含む)については、お客さまへの提案等も含めて、積極的に取組んでいます。

取組項目	具体的取組策と実績(平成25年4月~平成26年3月)
経営相談・支援のスキ	【コンサルティング能力向上のための金庫内研修の実施】 コンサルティング能力向上を目的に、金庫内研修を以下のとおり実施しました。 ・コンサルティング能力の向上を目的として、中小企業基盤整備機構より外部講師を招き、「中小企業会計啓発・普及セミナー・会計を経営に活かす」をテーマに金庫内研修を実施しました。 ・企業実態に即した経営改善計画書の策定が行える職員育成を目的として、営業課長29名を対象に経営改善計画書策定システムの活用と実践に向けた研修会を実施しました。
ルを持った職員の育成	【目利き能力の向上などの外部研修へ職員派遣】 目利き能力の向上などを目的に、外部研修への派遣を以下のとおり実施しました。 ・中小企業基盤整備機構主催の「認定支援機関向け経営改善・事業再生研修」に2名の職員を派遣しました。 ・千葉県信用金庫協会主催の「目利き融資・企業分析講座」へ4名の職員を派遣しました。 ・千葉県信用金庫協会主催の「法人融資開拓力強化講座」へ4名の職員を派遣しました。 ・全国信用金庫協会主催の「中小企業経営支援コンサルティング講座」へ1名の職員を派遣しました。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

取組方針

当金庫の情報網や店舗網の活用、行政や商工会議所など外部機関等との連携により、当金庫の営業基盤である地域の活性化に向けた活動やサービスの提供を実施する。

活動への支援・協力を実施しています。 〈実施・協力中の活動〉 ・コミュニティトラベルガイド「銚子人」の発刊:地域に住む人々に焦点をあてたコミュニティトラベルガイドの発刊に向けたPR活動や各団体への後援依頼等の協力 ・銚子円卓会議:地域通貨を活用した「この指とまれ」プロジェクト(千葉県地域コミュニティ活性化事業)への参加 ・Meetミライ2013:高校生が10年後の銚子を考えるプロジェクト「Meetミライ2013」の開催を支援するとともに、ワークショップ等へ参加 ・銚子中心市街地活性化研究会、銚子市の中心市街を主軸に銚子市全体の活性化を検討する銚子市内の事業者により構成された組織であり、地域金融機関として組織設立当初より参加・・銚子頭出し看板の会・楽しいまちづくりをコンセプトに総予市の活性化策である「顔出し看板」の設置に協力、現在、本店ロビーに設置(デザインは地元の高校生に依頼) 【若手社員研修会の継続開催】 4月25日・26日の2日間で、地元企業の明日を担う若い社員の育成のため、「魅力ある仕事の進め方」、「さわやかビジネスマナー」、「金融経済の基礎知識」などをテーマに、当金庫主催による第23回「ちょうししんき若手社員研修会」を開催しました。 〈今回の開催実績〉・参加事業所数 15社 受講者数 43名(通算:23回、延べ396事業所、合計853名) 【地域の明日を担う子供たちへの「金融機関体験学習」の実施】地域資献および金融経済教育の一環として、以下のとおり職場体験学習の受入れを行いました。 ・平成25年8月 第子中学校(中学2年生して、以下のとおり職場体験学習の受入れを行いました。・平成25年8月 第子科学大学(インターンシップ)2名 5日間・平成25年8月 ・手架中大学(インターンシップ)2名 5日間・平成25年8月 ・手科学大学(インターンシップ)2名 5日間・平成25年8月 ・手科学大学(インターン・ファップ)2名 1日間 【営業地域の景況をまとめた「ちょうししんきん景況レポート」の発行】 当金庫の営業店から寄せられる情報をおとしたした、各種収集情報をもとに、当金庫営業地域の景況について、平成16年7月から毎月レポートをとりまとめています。本レポートは、冊子での配布のほか、当金庫ホームページ上で公開しています。 本レポートは、冊子での配布のほか、当金庫ホームページ上で公開しています。	活性化に	向けた活動やサービスの提供を実施する。
議子市中心市街地の活性化に向けた事業を検討するとともに、銚子市内にて取組まれている地域活性化活動への支援・協力を実施しています。 〈実施・協力中の活動〉・コミュニティトラベルガイド(銚子人」の発刊:地域に住む人々に焦点をあてたコミュニティトラベルガイドの発刊に向けたPR活動や各団体への後援依頼等の協力・銚子円卓会議・地域通貨を活用した「この指とまれ」プロジェクト(千葉県地域コミュニティ活性化事業)への参加・Meetミライ2013:高校生が10年後の銚子を考えるプロジェクト「Meetミライ2013」の開催を支援するとともに、ワークショツブ等へ参加・・銚子中心市街地活性化研究会、銚子市の中心市街を主軸に銚子市を体の活性化を検討する銚子市内の事業者により構成された組織であり、地域金融機関として組織設立当初より参加・・銚子餅出し看板の会:楽しいまちづくりをコンセプトに銚子市の活性化策である「顔出し看板」の設置に協力、現在、本店ロビーに設置(デザインは地元の高校生に依頼) 【若手社員研修会の継続開催】 4月25日・26日の24目間で、地元企業の明日を担う若い社員の育成のため、「魅力ある仕事の進め方」、「さわやかビジネスマナー」、「金融経済の基礎知識」などをテーマに、当金庫主催による第23回「ちょうししんさ若手柱員研修会」を開催しました。 〈今回の開催実績〉・参加事業所数 15社 受講者数 43名(通算・23回、延べ396事業所、合計853名) 【地域の明日を担う子供たちへの「金融機関体験学習」の実施】地域貢献および金融経済教育の一環として、以下のとおり職場体験学習の受入れを行いました。・平成25年8月 祭子中学校(中学2年生による職場体験学習)3名 2日間・平成25年8月 千葉科学大学(インターンシップ)2名 5日間・平成25年8月 千葉科学大学(インターンシップ)2名 5日間・平成25年8月 千葉科学大学(インターンシップ)2名 5日間・平成25年10月 銚子市立双東小学校(「仲か・仕事びったり体験」)2名 1日間 【営業地域の景沢をまとめた「ちょうししんきん景沢レポート」の発行】 出金庫の営業店から寄せられる情報をはじめとして、各種収集情報をもとに、当金庫営業地域の景沢にて、下、平成16年7月から毎月レポートをとりまとめています。本しポートは、冊子での配布のほか、当金庫ホームページ上で公開しています。本とボートは、冊子での配布のほか、当金庫ホームページ上で公開しています。	取組項目	具体的取組策と実績(平成25年4月~平成26年3月)
1. 概況(漁業、農業、商業、建設業、観光業)	取組項目	【銚子市中心市街地活性化事業の実施】 銚子市中心市街地の活性化に向けた事業を検討するとともに、銚子市内にて取組まれている地域活性化活動への支援・協力を実施しています。 〈実施・協力中の活動〉 ・コミュニティトラベルガイド「銚子人」の発刊: 地域に住む人々に焦点をあてたコミュニティトラベルガイドの発刊に向けたPR活動や各団体への後援依頼等の協力・銚子円卓会議: 地域通貨を活用した「この指とまれ」プロジェクト(千葉県地域コミュニティ活性化事業)への参加・Meetミライ2013: 高校生が10年後の銚子を考えるプロジェクト「Meetミライ2013」の開催を支援するとともに、ワークショップ等へ参加・・銚子中心市街地活性化研究会・銚子市の中心市街地活性化研究会・銚子市の中心市街地活性化研究会・銚子市の事業者により構成された組織であり、地域金融機関として組織設立当初より参加・・銚子頭出し看板の会: 楽しいまちづくりをコンセプトに銚子市の活性化策である「顔出し看板」の設置に協力、現在、本店ロビーに設置(デザインは地元の高校生に依頼) 【若手社員研修会の継続開催】 4月25日・26日の2日間で、地元企業の明日を担う若い社員の育成のため、「魅力ある仕事の進め方」、「さわやかビジネスマナー」、「金融経済の基礎知識」などをテーマに、当金庫主催による第23回「ちょうししんきん若手社員研修会」を開催しました。 〈今回の開催実績〉・参加事業所数 15社 受講者数 43名(通算:23回、延べ396事業所、合計853名) 【地域の明日を担う子供たちへの「金融機関体験学習」の実施】 ・・参加事業所数 15社 受講者数 43名(通算:23回、延べ396事業所、合計853名) 【地域の明日を担う子供たちへの「金融機関体験学習」の実施】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2. 主要業種別動向(漁業・水産加工業、農業、商業、建設業、観光業、不動産業、養豚業・畜産業、自動ディーラー) 3. その他動向(求人、電力、倒産)		本レポートは、冊子での配布のほか、当金庫ホームページ上で公開しています。 <レポートの掲載項目例> 1. 概況(漁業、農業、商業、建設業、観光業) 2. 主要業種別動向(漁業・水産加工業、農業、商業、建設業、観光業、不動産業、養豚業・畜産業、自動車ディーラー)
		当金庫の営業店から寄せられる情報をはじめとして、各種収集情報をもとに、当金庫営業地域の景況について、平成16年7月から毎月レポートをとりまとめています。本レポートは、冊子での配布のほか、当金庫ホームページ上で公開しています。 <レポートの掲載項目例> 1. 概況(漁業、農業、商業、建設業、観光業)

取組項目	具体的取組策と実績(平成25年4月~平成26年3月)
	【視覚障がい者対応ATMの設置】 お客さまのさらなる利便性向上を図るため、視覚障がい者に対応したATMの設置を進めており、全店設置に向けて、計画的に整備しています。
	平成26年3月 全店舗設置完了
障がい者・高齢者に配 慮した取組みの推進	【認知症サポーターの養成】 お客さま対応力の向上、ならびに認知症の方やそのご家族が安心して生活できる地域社会づくりに貢献するため、「認知症サポーター」の養成に取組んでいます。平成25年度は、役職員全員が認知症サポータ養成講座を受講し、「認知症サポーター」になりました。 平成26年度以降も新入職員を対象として、継続的に「認知症サポーター」の養成に取組んでいきます。 平成25年度受講者数 480名(育児休業者等を除く全役職員が受講)

3. 地域や利用者に対する積極的な情報発信

取組方針

当金庫の地域密着型金融の取組みや各種商品・サービスなどについて、地域や利用者へ情報を発信することにより、地域密着型金融の取組みに対する利用者の理解と信頼を深め、地域金融機関としての評価を確立する。

 取組項目	具体的取組策と実績(平成25年4月~平成26年3月)
積極的な情報の発信	【地域密着型金融に関する事項のディスクロージャー誌等による公開】 「地域密着型金融推進計画」を策定し、中小企業金融の円滑化と地域経済の発展に向けて取組んでいます。「地域密着型金融推進計画」の具体的な取組みについては、7月と11月の年2回発行するディスクロージャー誌および当金庫ホームページへ掲載し、地域や利用者のみなさまに対する情報発信に努めています。 【各種商品・サービスや取組み内容等のプレスリリースとホームページ公開】 地域のみなさまのご要望に応えるべく、各種商品・サービスの提供や地域貢献活動に努めています。各種情報の提供については、当金庫営業店でのポスター・パンフレットをはじめとして、当金庫ホームページ・ディスクロージャー誌への掲載、プレスリリースを通しての提供など、幅広い手段による情報発信に努めています。 〈平成25年度の実績〉・ホームページ「お知らせ」掲載 78回・プレスリリース配信 11回 【総代・会員に対する経営内容・活動状況等の情報発信】
	毎年6月に会員向けに発行する「業務のご報告」について、当金庫の経営方針、営業概況、決算状況、地域 貢献・社会貢献活動、店舗のご案内など、当金庫の現況を幅広く紹介する冊子としてリニューアルしました。